

第 3 回まちづくり推進検討委員会
- 議 事 録 -

日時：平成 22 年 2 月 26 日(金)

13：00～14：20

場所：大月市民会館 4 階 視聴覚室

1. 開会

【事務局】

- ・ 定刻になりましたので、ただ今から平成 21 年度第 3 回まちづくり推進検討委員会を始めさせていただきます。
- ・ まず、西井委員長よりご挨拶いただきます。

2. あいさつ

【委員長】

- ・ 今年度第 3 回目のまちづくり推進検討委員会ということで、年度末のお忙しい時期にもかかわらずお集まりいただきありがとうございます。
- ・ 今年度最後の委員会となるが、議題にもあるように、来年度に向けた委員会の方針などについて議論いただきたい。
- ・ 宜しくお願い致します。

【事務局】

- ・ ありがとうございました。
- ・ 議事に入る前に、お手元の資料の確認をお願いしたい。資料 1 については、事前に郵送でお配りした。本日の資料としては、その他に資料 2、資料 3、及び参考資料の 1 から 3 までを用意した。
- ・ それでは、議事進行については、委員長をお願いしたい。宜しくお願い致します。

3. 議事

【委員長】

- ・ それでは、早速ですが議事を進めたい。

(1) 報告事項

平成 21 年度第 2 回検討委員会議事録について

【委員長】

- ・ まず、報告事項として、前回の平成 21 年度第 2 回検討委員会議事録についてである。資料 1 にもとづき、事務局から簡単に内容を報告いただきたい。
- ・ では宜しく申し上げます。

【事務局】

(資料 1：平成 21 年度第 2 回検討委員会議事録 説明。)

- ・ 議事録は、委員の皆様事前に配布させていただいた。
- ・ 内容としては、平成 21 年度第 1 回まちづくり推進検討委員会の議事録についての報告を行い、ご承認をいただいた。

- ・ 協議事項として、「賑わいづくりのための具体的戦略の絞り込みについて」では、まず「大月駅南口駅前広場暫定整備完成予想図」について説明し、議論いただいた。
- ・ 二つ目の協議事項として、「全国事例から考察される賑わいづくりのための具体的事業案」にもとづき、具体的に7事業を提案し、議論いただいた。
- ・ 事務局の宿題として、各提案事業の実現可能性について評価とランクを表にまとめ、今回の検討委員会で説明することとなった。
- ・ その他、いくつかの意見をいただいたが、本日の協議事項の中で、資料を用いて説明したい。
- ・ その他は議事に記載してあるとおりである。簡単ではあるが、以上を説明としたい。

【委員長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 事前に郵送していただいているので、委員の方には目を通していただいていると思っている。
- ・ 簡単な説明ではあったが、前回の議事録についてお気づきの点があれば伺いたい。
- ・ また、議事の途中や閉会后でも構わないので、議事録についてお気づきの点があれば私か、事務局にご指摘いただければと思う。
- ・ 前回の検討委員会のときの意見への対応の詳細な中身については、本日の協議事項の中で説明があるということなので、その時に議事録に関連する指摘があればしていただいても構わない。
- ・ よろしいでしょうか？

【委員】

- ・ 特になし。

【委員長】

- ・ それでは、(1)報告事項の第2回検討委員会議事録については、委員会の中で承認したということにさせていただきます。

(2)協議事項

賑わいづくりのための具体的事業案について

【委員長】

- ・ それでは、協議事項として2項目あり、両者とも関連しているが、分けて説明いただきたい。
- ・ まず、「賑わいづくりのための具体的事業案」ということで、先ほど議事録にもあったように、前回既に7つの事業を提案されており、全国事例を参考とした大月の中心市街地における賑わいづくりのための具体的事業案について検討してきた。
- ・ それについて、今回、具体的事業案の絞り込み等の意見をまとめさせていただき、来年度以降につなげていきたい。
- ・ まずは、前回の宿題も含めて資料作成をしているので、資料2及び関連する参考資料について事務局から説明をいただきたい。
- ・ 宜しくお願いします。

【事務局】

(資料2:「全国事例を参考とした大月中心市街地における賑わいづくりのための具体的事業

案」 説明。)

- ・ 提案する事業が、11 事業ある。
- ・ 前回提案したものが 7 事業で、第 1 回の委員会で提案したものが 4 事業あり、合計 11 事業である。
- ・ 今回は、駅前を中心とした賑わいづくりが 5 事業、商店街を中心とした賑わいづくりが 6 事業という格好で 2 つのグループに分類した。
- ・ 表の右に実現可能性の評価項目として、人材確保・物資調達・コスト・準備時間という 4 つを設け、それぞれ 3 段階評価を行った。
- ・ 評価については、容易なもの・実施しやすいものから 3 を付け、難しいものには 1 を付けており、合計点を記した。
- ・ 更に右の列の実現可能性ランクについては、合計点が 10 点から 12 点までを A として可能性が高いもの、7 点から 9 点までを B として可能性が普通のもの、4 点から 6 点までを C として可能性が低いものというようにランク付けを行った。
- ・ (以下、各事業の概要等について説明を行った。)
- ・ (引き続き、参考資料 1:「大月駅周辺空き店舗状況」、参考資料 2:「観光資源・施設の分布状況図(文化・歴史資源系)」、参考資料 3:「観光資源・施設の分布状況図(自然資源系)」について説明を行った。)

【委員長】

- ・ ありがとうございました。
- ・ まず、資料 1 の部分では、11 事業の提案をしていただいた。
- ・ 駅前広場を中心とした賑わいづくりと商店街を中心とした賑わいづくりの 2 つのグループに分けてはどうかという提案がされている。
- ・ 駅前広場を中心とした賑わいづくりは 5 事業、商店街を中心とした賑わいづくりは 6 事業で分類されている。
- ・ 前回までの検討委員会で、事業の概要とは別に現時点でできる事業の実現可能性の評価や可能性の高いもののランク付けと、現時点で考えられる課題があれば明記していただきたいという意見があったので、それを踏まえた格好に改め、今回資料が示されている。
- ・ また、事業の概要や実現可能性の評価、合計点がどのようになっているか説明をいただいた。
- ・ 今日の協議事項 1 の話では、来年度へ向けての検討ということでこの 11 事業が認めていただければ、協議事項 2 で触れるが、それを受けた格好で作業部会を立ち上げ、部会の中で具体的な事業案の検討を行っていただくために議論していきたい。
- ・ まず、資料の説明や事業の評価について、質問や意見等はいかがでしょうか？
- ・ 実現可能性の 3 段階評価については、確定的な点数ではなく、現時点で示している事業概要のレベルで想定される点数を付けてみたという程度で理解をいただきたい。
- ・ 具体的な実現可能性に対する詰めた議論は、作業部会の中で、いろいろな問題点を洗い出しながら、あるいは事業の中身を精査していきながら再度議論して頂くことになると思う。
- ・ 作業部会としては、最終的にこの中のどの事業から進めていくのかということ委員会の方へ報告していただくこととなる。

- ・ いかがでしょうか？

【委員】

- ・ 各事業の内容が具体的なものになっていない状況だが、事業ナンバー2、3、4は駅前広場のどこで行うことを想定しているのか聞きたい。
- ・ ナンバー1については、観光案内所を想定されているということで理解できるが、その他については具体的な場所を教えてください。

【委員長】

- ・ 現時点で事務局がどのような場所を想定して提案しているかはお答えできると思うが、具体的にどのようになるかは作業部会で煮詰めていくことになると思う。事務局としてはいかがか？

【事務局】

- ・ 第1回検討委員会で説明した資料で、配置図をお配りしている。
- ・ その中では、駅舎前の歩道で現タクシー乗降場のスペースや、あるいは新しい浜野屋前の歩道のスペースの2箇所を想定している。
- ・ 実際に社会実験を行う23年度には広場の整備を予定しており、どこまで完成しているかという問題があるが、工事と支障して全体は使えないまでも一部を利用して実験を行うことができると考える。
- ・ また、広場から西側へ伸びる歩行者専用道路においても、朝市・夕市事業などのスペースとして想定している。

【委員長】

- ・ 確認したいことは、今説明された場所は事業2、3のどちらを対象としているのかということであるが、その点はいかがか？

【事務局】

- ・ 両方を想定している。

【委員長】

- ・ 実験を行う際には、同じ場所で両方を一度に行う訳にはいかないと思う。
- ・ また、毎日継続して行う事業とそうでない事業が出てくると思う。その点は、調整しながら運用していくということによろしいか？

【事務局】

- ・ はい。

【委員長】

- ・ 実際に実験として行われるかどうかは、工事の進捗状況を見ながら検討するということになると思うが、その辺りも含めて調整が必要である。
- ・ その他にはいかがか？

【委員】

- ・ 前回も具体的な事業案について述べさせて頂いたが、この事業の中でウォーキングトレイル整備事業については、実現可能性がBランクになっている。しかしながら私は一番早く実現できる事業ではないかと思っている。
- ・ 岩殿山などの山々へ向けて、裏通りの東京電力前辺りを歩いている人がかなり見受けられる。これをBランクに位置づけることはおかしいと思う。
- ・ 大月の賑わいづくりにおいて一番手っ取り早い事業ではないかと思うので、Aランクに

して頂きたい。

- ・ 市議会の中でも案内板などの整備について話題になっているようだが、この委員会や作業部会においても早期整備に向けた議論をしていく必要があるのではないかと思う。

【委員長】

- ・ ありがとうございました。
- ・ 委員会から盛り上げていきなさいということであったが、ここでの評価付けは案内板や散策路の整備など、ハード面での予算や物資調達などが確保・確定されないと実現できないことから、その部分の評価が2点となっている。
- ・ したがって、それが確保できるということになれば、Aランクになり得るということになる。
- ・ Bランクと言っても、その中でも一番高いランク付けなので、事務局の提案としては今回Bランクだが、委員会としてはAランクと見なした格好で実現できるように作業部会で実施案を作成してもらいたい。
- ・ 本日の資料としてはこのままにしておき、作業部会を立ち上げた際の資料では、本日の意見に基づきAランクという位置づけとしたことを申し送り、具体的な検討に入ってもらいたい。
- ・ よろしいでしょうか？

【委員】

- ・ はい。

【委員長】

- ・ 他にはいかがか？
- ・ 最後の事業に一つだけCランクが付いているが、着地型観光事業の必要性という意義は非常に高いものなので、作業部会で検討して頂き、CからB、BからAへと可能性を高めるための条件整理を考えてもらうことも必要かと思っている。
- ・ やはり具体的な検討はすべきで、Aにするためにどうしたら良いか、さらに現在Aのものについてはそれぞれ残されている課題をどのようにクリアしていくかという検討が必要である。
- ・ Aランクの中でも評価が満点のものはない。つまり課題がほとんどない事業はないということである。
- ・ 作業部会の立ち上げを前提としているので、委員会としてはなぜ満点でないのかという課題の部分をクリアにしておく、作業部会の検討もやりやすいと思う。
- ・ 例えば、まちのコンシェルジュ事業で2の評価がされている項目は、人材確保とコストであり課題を見ると、「ボランティアを活用するか、観光協会へ委託するかで評価が変わる。」ということだが、言わば観光協会に丸投げをすればコンシェルジュ事業としては成立するというので、委員会としてはそれで良いとするのかという問題がある。
- ・ そうすると、観光協会頼みということになってしまう。実際の事業の中身によっては観光協会にお願いするだけでなく、それなりの人材確保や予算確保についても検討しなければならない。
- ・ 資料の評価は評価として良いと思うが、課題の部分でコンシェルジュ事業の中身をもう少し精査した上で、事業主体や人材、コスト面の実現可能性を検討してもらいたい。
- ・ 何がポイントなのかをしっかりと検討した方が良いと思う。

- ・ 2 番の駅広移動店舗活用事業については、準備時間が 2 点ということだが、これは具体的に移動式店舗を誰がやるかという点で実際に事業主が見つかるかという問題と、移動式ということで広場を一部占有することとなるのでその辺りの調整の問題、また店舗として周辺の飲食店と商売敵となるのでその辺りの調整が必要となる部分で、結局のところ準備時間の観点からの評価がなされている。
- ・ また、事務局の説明の中で、屋台的な焼きそばやたこ焼き、クレープなどをイメージしているということだったが、果たしてそれで賑わいづくり事業の核の一つとして人が集まるのかということなかなか簡単にはいかないと思う。
- ・ 他の街で賑わいをつくっているような移動式店舗が出てきていることも事実であり、それはそれでキャンペーンや地域の人への呼びかけがされており、あるいは一度は食べてみたい、買ってみたいというユニークなものであるという必要があるかも知れない。
- ・ 事業を成功させるためのマーケティング的な部分での検討も必要かと思うので、その辺りも課題かと思う。
- ・ 私が見る限りでも、A ランクのものにも少し課題が見られる。
- ・ 駅広コンサート事業も比較的实现性が高いものとされているが、人材確保では誰がイベント屋となって開催するのか、1 回だけの開催ならできると思うが、これを継続させていくには主催者や開催母体の組織体制が非常に大きく影響する。
- ・ スペースだけを提供して、コンサート等のアレンジは主催者側にお願いするとなると、それなりのコストや人材確保が必要となる。
- ・ 街全体としてどのようにコンサート事業を支援していくのかという課題がある。
- ・ B 以下については、おそらくここで指摘されているいくつかの課題が 3 点にならなかった理由となっていると思うが、総じて言えば、説明にもあったように具体的な中身が今の段階ではっきりしていないからということなので、当然作業部会の中ではそれぞれの具体性を高めるといことが一番の検討課題かと思う。
- ・ 作業部会の立ち上げとの関係で、何が課題かという部分をもう少し具体的にしてから部会に示していきたいと思う。
- ・ 他にお気づきの点があればお願いしたい。

【委員】

- ・ 駅前広場を中心とした賑わいづくりと商店街を中心とした賑わいづくりということで、広場と商店街と地域的に二分割をしているが、両者は重なり合う部分があり一体となって進めていかなければならない。
- ・ 人と物の流れを考えていかなければ、そこで落とされるお金も限られてくると考えられる。
- ・ 甲府の商店街でも人通りの調査をしており、先日新聞報道にあったとおり 5 千人増えたとのことである。
- ・ 地域を二分割するのではなく、事業を有機的に結合して、人の流れを一人でも多く誘導することが重要ではないか。中には地域の住民もいれば、来訪者もいる。今後、作業部会を立ち上げて検討していかなければならないことは当然かと思うが、その中で事業メニューを有機的に結合して、ゾーニングをもう少し広げて検討して頂ければと思う。
- ・ これは作業部会立ち上げにあたっての提案である。

【委員長】

- ・ 今の話は、各事業が単独でスタートした場合、例えば駅前で行われている事業に訪れた人に対して、商店街でもおもしろい事業をやっているという案内ができれば、商店街へ人を誘導することができるということや、そもそも始めから両方を一体的な事業として地域の人々や来訪者にアナウンスされていれば、大月に行けばあんなことやこんなことが体験できるという印象を与え、両方の事業が盛り上がる結果となるということである。
- ・ 事業の全体像をとりまとめるときには、個々に検討されてきた事業をどのように組み合わせるかということや、広場の中の事業もそれぞれどのように組み合わせるかということも考えなければならないし、ご指摘のように駅前と商店街の事業の組み合わせを考える必要がある。
- ・ おそらく来年度の前半部分は、部会の宿題となっている事業を中心に議論を深めていただき、後半にはそれぞれの部会でどのような検討がされたかということと、事業間の組み合わせや連携という部分を検討項目に加えていただいて、二つの作業部会を全体としてどうするのかという点については最終的に委員会へ上げていただいて、皆さんに議論していただくことになろうかと思う。
- ・ そのようなスケジュールを想定して作業部会で検討していただくというようにしてはどうかと思う。
- ・ よろしいでしょうか？

【委員】

- ・ はい。

【委員長】

- ・ 他にはいかがか？

【委員】

- ・ 駅前がきれいになっていいなと思っているが、そこに来たお客さんを商店街の方へ誘導して頂きたいと思う。
- ・ 資料を見ると、空き店舗の数が非常に多い。
- ・ 移動店舗活用事業で屋台という話があったが、空き店舗をいくつか開けていただいて、そこでお店をやれば人が集まるし人の流れが変わると思う。
- ・ 商店街でも、「街・商い賑わいづくり」という委員会を立ち上げて検討を始めているので、商店街を中心とした賑わいづくりの中でBランクに位置づけられている事業をAランクに位置づけていただけると話も盛り上がって良い方向に進むと思うので宜しくお願いしたい。

【委員長】

- ・ 商店街を中心とした賑わいづくりは、基本的に昨今深刻な問題となっている空き店舗の問題をどうするかということについて、どの事業が中心に対応するかが概要の中に書かれていない。商店街の事業のうち、2、3、4という事業は、空き店舗を活用して行うことも想定しなければならない。
- ・ 委員ご指摘のように、駅前を中心とした賑わいづくりに振り分けられている駅前移動店舗活用事業を商店街のスペースや空き店舗を利用してやってはどうかということなので、この辺りについても駅前を中心とした賑わいづくりの部会の中で商店街の活性化や空き店舗対策を意識して検討すべきという課題も載せていただきたいと思います。
- ・ 先ほど委員からご意見があったように、Bランクでは検討意欲が今ひとつ高まらないの

ではないかということなので、何をクリアすればAになるのか、あるいはAにすることを目標とすればBランクのものを優先的に議論しなければならないということも言える。

- ・ その辺りで課題の部分をもう少しチェックしていければと思う。
- ・ 例えば、まちなかサロン支援事業がBランクとなっているが、課題に「活動内容によっては空き店舗内の改装工事が必要となる」ということで良いアイデアだが、やはり具体的な中身が決まらないとどこまでコストがかかるのかについて現段階で判断できないということなので、2点の評点付けをせざるを得ないという部分があったと思う。
- ・ そういう意味では、課題を早くクリアして、コストの面でも目途が立つ状況となれば、BランクからAランクに上げられるという話も可能だと思う。
- ・ 何がマイナス評価となっているかを示しておく必要がある。そして、Bランクが付いていることによって、検討の盛り上がり半減するような状況にならないように、むしろBランクのものこそ積極的に検討していかなければという雰囲気にならなければならない。
- ・ 他にはいかがか？

【委員】

- ・ ただ今の話を総合的に聞いていると、何かイベントを中心としたときでないとならざるの事業は適用できないのではという印象を受けている。
- ・ 定期的に観光客やお客さんを街に呼び込まないと賑わいにならないと思う。
- ・ そこで参考資料の2や3を見ると、多くの観光資源が大月にはあるので、事業メニューにはないが休日や祭日に定期的にシャトルバスを運行してお客さんが周遊できるような事業を行えば、もっとお客さんが増えると思うがいかがか？

【委員長】

- ・ 今の話は、地域の人というよりも来街者を中心に大月の観光資源や自然資源を楽しんでいただいて、交流人口を増やすための事業として考えてはどうかということかと思う。
- ・ 事業メニューの中では、商店街を中心とした賑わいづくりに振り分けられている大月短大生の提案である着地型観光事業が挙げられる。
- ・ この事業の中ではヘルスツーリズムに絞られており、実現可能性がCランクという位置づけがされているが、これをCからB、BからAに押し上げるためには、委員ご指摘のようにシャトルバスの運行や他の手だてを検討して、人が魅力的に感じたり遊びに行こうと思えたりするような観光事業として展開すべきではないかということも検討して良いと思う。
- ・ 作業部会に検討して頂く際には、今のままではこの事業は実現が厳しいということだが、参考資料にあるような資源を活用して交流人口を増やすことは重要だということで、もう少し他の展開を含めて検討していただきたいということを伝えておくことにしたい。
- ・ また、コンシェルジュ事業の中で観光を扱うことは当然できるが、コンシェルジュの性質としては、案内や情報提供、プロモーション的な部分での手伝いを行う事業なので、実際にバスを走らせたり、観光ルートを作ったりということまではできないと思う。今のご指摘は観光事業として位置づけた方が良くと思う。
- ・ よろしいでしょうか？

【委員】

- ・ はい。

【委員長】

- ・ それでは、協議事項 1 番目の具体的事業案については、資料 2 で示されている評点をまずは活かしていただいて、課題点についてはご指摘いただいた部分を明記した格好でまとめておきたい。そうした上で、作業部会へ申し送りしたい。
- ・ スケジュール的には、来年度の前半と後半で検討の軸足を変えながら検討していただきたいという点も部会に申し送りしたい。

作業部会の立ち上げについて

【委員長】

- ・ それでは、作業部会の立ち上げについて資料 3 が出ているので、その説明を事務局からお願いしたい。

【事務局】

(資料 3:「まちづくり推進検討委員会作業部会設置要綱(案)」 説明。)

- ・ 平成 22 年度の作業部会の立ち上げということで「まちづくり推進検討委員会作業部会設置要綱(案)」を作成した。
- ・ (以下、資料 3 に基づき説明を行った。)

【委員長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 来年度作業部会を立ち上げて、協議事項 1 でも説明したとおり、駅前広場を中心とした賑わいづくりと商店街を中心とした賑わいづくりの各事業を大まかに二つのグループに分けて検討していきたいということである。
- ・ 作業部会の目的は、「中心市街地の賑わいづくりに必要な事業の有効性や効果を検証・評価するための社会実験に関する実施計画を策定する」こととなっている。
- ・ 検討内容の項目は二つあり、「設置目的を達成するため下記の作業部会を設置する」という部分が構成についてで、2 のところで「策定する実施計画には、社会実験の目的及び内容とともに、事業の絞り込みに必要な評価基準を明確にするものとする」こととされている。
- ・ 作業部会のミッションとしては、来年度の前半部分で協議事項 1 の 11 事業を二つに分け、それぞれの部会で各事業の検討と、さらに部会の中で出てきたその他の事業についても検討を行い、後半ではそれぞれの事業間の連携や作業部会 A・B との連携という点を検討した上で、実施計画を策定するということとなっている。
- ・ 検討委員会の中に作業部会を設置するということであるが、いかがでしょうか？
- ・ 作業部会を設置するということによろしければ、3 の組織のところにあるように、作業部会に部会長を置き、委員長が指名することとなる。
- ・ 部会員の構成及び運営は部会長に一任するという事となっているので、おそらく部会長から話があると思うが、何人かの部会員についてはこの検討委員会から入っていただくことになると思うし、既に地域で取り組んでいる方々に参加していただいて、意見をいただくということになると思う。
- ・ その辺りの人選については、部会長に一任したいということが今回の設置要綱である。
- ・ いかがでしょうか？

【委員】

- ・ 特になし。

【委員長】

- ・ それでは、私が二つの作業部会の部会長を指名することとなっている。
- ・ この委員会の委員に学識経験者の方が2名いるので、その方々をお願いしたい。
- ・ 作業部会Aについては石井委員に、Bについては永岩委員をお願いしたいと思う。
- ・ 委員長指名ということで、お二人からは事前に内諾を得ているが、非常に検討項目が多い中で大変かと思うが作業部会の運営を宜しくお願いしたい。
- ・ 皆さんもご承認いただければありがたいと思う。
- ・ 部会員の構成や運営については、部会長と事務局で協議していただき、たくさんの検討項目があるので次年度のスケジュールを調整しながら進めていただければと思う。宜しくお願いします。
- ・ では、作業部会の立ち上げについてはこの辺りとしてほしいのでしょうか？

【委員】

- ・ はい。

その他

【委員長】

- ・ 今日は以上の2つの協議事項ということで議事を終わらせていただきたいと思いますと思うが、これまでの議事に関する事で何かありますか？

【事務局】

- ・ 来年度の検討委員会・作業部会を含めた活動計画についてだが、先ほど委員長にまとめていただいたように、作業部会の審議を部会長と協議しながら4月以降すみやかに進めさせていきたい。
- ・ ある程度内容等を委員会に報告できるような時期に、第1回検討委員会を開催することとしたい。
- ・ 委員会に先行して作業部会を実施することとなるが、ご了承頂きたい。

4. その他連絡事項

(事務連絡)

5. 閉会

【副委員長】

- ・ 大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。
- ・ 平成21年度の第3回の委員会を終えて、ある程度まとまったのではないかという印象である。
- ・ 来年度も引き続き宜しくお願いしたい。ありがとうございました。